

各関係機関団体の長
殿
各病虫害防除員

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

技術情報第 6 号

水稻の海外飛来性害虫の飛来状況について

本年のセジロウンカ、トビイロウンカの飛来状況をお知らせします。
また、7月10日までのネットトラップ、予察灯での捕獲数および、ほ場における発生状況等に基づき、トビイロウンカの発生予想パターン図を作成しましたので、併せてお知らせします。

1 作物名 普通期水稻

2 病虫害名 海外飛来性害虫 (セジロウンカ、トビイロウンカ)

3 発生状況

(1) 飛来状況

- 1) 福岡県内の予察灯(5か所:筑紫野市、糸島市、筑後市、行橋市、遠賀町)並びにネットトラップ調査(1か所:筑紫野市)では、セジロウンカ・トビイロウンカともに7月9日まで飛来成虫を確認していないが、佐賀県の予察灯で6月25日にトビイロウンカの飛来を確認している。
- 2) 日本植物防疫協会運用の「JPP-NET」のウンカ類飛来予測を参考にほ場調査を行った結果、セジロウンカ成虫を6月26日、6月30日、7月5日、7月7日、7月10日に100株当たり1頭程度確認した。また、7月10日にトビイロウンカ成虫を100株当たり0.5~1頭程度確認した(表1)。
- 3) 「JPP-NET」の飛来予測日、近隣県の飛来状況並びに県内のほ場調査の結果から、本県へのセジロウンカ・トビイロウンカの主要飛来日を、6月25日並びに7月9日と推定した。

(2) 7月2半旬のほ場調査結果

1) セジロウンカ

10株当たりの払落し成幼虫数は平均0.2頭(平年7.8頭、前年24.0頭)、発生ほ場率は0.9%(平年61.5%、前年46.2%)で、払落し数・ほ場率ともに平年・前年より少ない。

2) トビイロウンカ

10株当たりの払落し成幼虫数は平均0頭(平年0.02頭、前年0頭)、発生ほ場率は0%(平年3.3%、前年0%)で、払落し数・ほ場率ともに平年・前年並であった。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 今後の飛来状況やほ場での発生状況については、病虫害防除所が発表する病虫害発生予察情報に注意する。
- (2) トビイロウンカは田植時期や、地域およびほ場毎の発生の差が大きく、育苗箱施薬剤が施用されたほ場でも、田植後1か月以上経過すると農薬の効果の低下に伴い増殖しやすくなるので、発生予想パターン図(図1)を参考に、ほ場における発生状況を把握し、発生が多い場合は幼虫期に防除を行う。

＜要防除水準：中老齡幼虫の合計数＞

飛来後第1世代： 20頭／100株（7月中～下旬頃）

飛来後第2世代： 100頭／100株（8月中～下旬頃）

飛来後第3世代：1,000頭／100株（9月中～下旬頃）

(3) 無人ヘリコプターによる防除を気温が高い時間帯に実施すると、薬剤の種類によってはイネの株元に到達する前に気化し、防除効果が著しく低下する場合がありますので、気温が上昇する前の早朝に実施する。

(4) 防除に当たっては、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を順守する。

(5) 病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「福岡県病害虫防除所ホームページ」 <http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/>



最新の病害虫発生状況

表1 JPP-NET ウンカ類飛来予測に基づく見取り調査結果（平成29年7月10日現在）

飛来予想日	調査日	調査場所	田植日	NO	セジロウンカ(頭)		トビイロウンカ(頭)		
					♀	♂	♀	♂	
6月7日 ＜第1波＞	6月9日	筑紫野市 本道寺 (200株)	5月27日	①	0	0	0	0	
				②	0	0	0	0	
6月21日 ＜第2波＞	6月22日	筑紫野市 原 (200株)	5月14日	①	0	0	0	0	
				②	0	0	0	0	
		本道寺 (200株)	5月23日	①	0	0	0	0	
				②	0	0	0	0	
		山家 (200株)	6月10日	①	0	0	0	0	
				②	0	0	0	0	
朝倉市 菱野 (100株)	4月30日	①	0	0	0	0			
		②	0	0	0	0			
6月25日 ＜第3波＞	6月26日	筑紫野市 原 (300株)	5月14日	①	0	0	0	0	
				②	3	0	0	0	
		本道寺 (300株)	5月23日	①	1	0	0	0	
				②	0	0	0	0	
		山家 (300株)	6月10日	①	0	0	0	0	
				②	2	0	0	0	
6月28日	筑紫野市	吉木 (300株)	6月11日	①	0	0	0	0	
				②	0	0	0	0	
		(300株)	6月18日	①	0	0	0	0	
				②	0	0	0	0	
6月29日 ＜第4波＞	6月30日	筑紫野市 (200株)	5月14日	①	2	0	0	0	
				本道寺 (300株)	5月23日	①	1	0	0
		山家 (300株)	6月10日			①	0	0	0
				吉木 (300株)	6月11日	①	0	0	0
		6月18日	①			0	0	0	0
			7月3日	筑紫野市	吉木 (200株)	6月11日	①	0	0
(200株)	6月18日	①					0	0	0
		(200株)	6月18日	①	0	0	0	0	
(200株)	6月18日			②	0	0	0	0	
		7月4日 ＜第5波＞	7月5日	東峰村 福井 (100株)	6月7日	①	0	0	0
②	2					0	0	0	
小石原 (100株)	6月10日			①	0	0	0	0	
				②	0	0	0	0	
大任町 柿原 (100株)	6月11日			①	0	0	0	0	
				②	1	0	0	0	
嘉麻市 中益 (100株)	6月15日	①	0	0	0	0			
		②	0	1	0	0			
7月5日	7月6日	福岡市 脇山 (100株)	6月9日	①	0	0	0	0	
				②	0	0	0	0	
		糸島市 本 (100株)	6月18日	①	0	0	0	0	
				②	0	0	0	0	
		松末 (100株)	6月25日	①	0	0	0	0	
				②	0	0	0	0	
7月6日 ～7日	7月7日	飯塚市 秋松 (100株)	6月11日	①	1	0	0	0	
				②	0	0	0	0	
7月8日 ～9日 ＜第6波＞	7月10日	筑紫野市 山家 (100株)	6月10日	①	0	0	0	0	
				②	0	0	0	0	
		(100株)	吉木 (200株)	6月11日	①	0	0	0	0
					②	0	0	0	1
		(200株)	6月18日	①	0	0	0	0	
				②	1	0	0	0	
みやま市 (直播ほ場) (25株払落し)	上庄	5月27日播種	6月17日播種	①	0	0	0	0	
				②	0	0	0	1	
				③	0	0	1	0	
				①	0	0	0	0	

* ()は見取り株数

* <>の飛来波数は福岡県で推測したもの

	6/25飛来 ↓					7/9飛来 ↓																					
月	6月					7月					8月					9月											
日				25	30			5	10	15	20	25	31		5	10	15	20	25	31		5	10	15	20	25	30

6月25日
飛来

成虫	卵	第1世代幼虫	成虫	卵	第2世代幼虫	成虫	卵	第3世代幼虫	成虫
----	---	--------	----	---	--------	----	---	--------	----

7月9日
飛来

成虫	卵	第1世代幼虫	成虫	卵	第2世代幼虫	成虫	卵	第3世代幼虫
----	---	--------	----	---	--------	----	---	--------

- (注) (1) JPP-NETの有効積算温度計算シミュレーションを用いて算出。
 発育零点12.0℃、発育上限温度28.5℃、発育停止温度33.0℃
 有効積算温度(成虫期間100.0℃、卵期間109.4℃、幼虫期間189.4℃)
- (2) 気温はアメダス太宰府を使用(7月9日まで実測値、以降は平年値)。

図1 飛来に基づくトビイロウンカの発生予想パターン図(平成29年7月10日作成)